

一般公開
講座

第7回 親守詩山口大会 記念講演会

主催：山口県親学推進委員会

なぜ、私たちは0歳児を授かるのか？それには、意味があるのです！
「子育てこそかすがい！」あなたなりの育児のヒントが見つかります！

親が、子供と共に一緒に成長していくとは、一体どういうことなのか？

この機会に、「親子の絆」について改めて考えてみませんか？

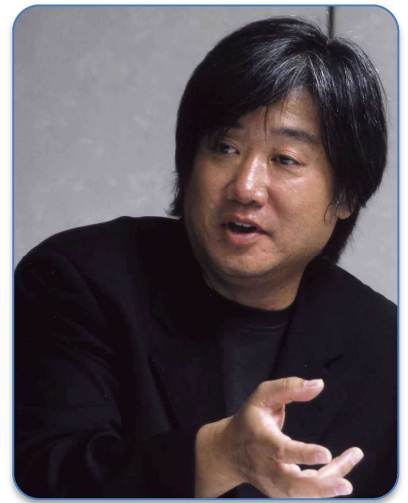
＜ 講師 ＞

まつい

かず

松居 和 氏

1954年東京生まれ。慶応大学哲学科からカリフォルニア州立大学(UCLA)民族芸術科に編入・卒業。尺八奏者として多数のアメリカ映画に参加。1985年から「先進国社会における家庭崩壊」や「子育てが育む絆」等に関する講演活動を実施し、欧米の後を追う日本の状況に警鐘を鳴らす。2006年から2010年にかけて埼玉県教育委員会委員長を務めた教育のスペシャリスト。



＜ 演題 ＞

「親心を育む」

～学校教育における家庭・地域の役割り～

日 時

平成30年10月21日(日)

9:30～11:00(受付9:00～)

※11:10頃から第7回親守詩山口大会優秀作品の表彰を行います。

会 場

ユピーアールスタジアム 第1・第2会議室

住所：宇部市恩田町四丁目1番4号 ☎：0836-31-1507

参加費

無 料

御家族、お友達等を誘って、是非御参加ください。

申込/問い合わせ先

山口県親学推進委員会 事務局(県教連事務局)

参加申込及び、御質問等は、下の電話番号まで御連絡ください。

※ 当日受付も可能ですが、資料準備の関係上、平成30年10月17日(水)までにお電話いただけますと幸いです。

まずは、お気軽にお電話ください。

083-922-2049



平成 30 年度 第 7 回親守詩山口大会

テーマ：「親子の絆」「親への感謝」

1 開催趣旨

自分に対して自信が持てず、自己肯定感の低い子供たちが増えてきています。このような現代の子供たちの状況を考えるとき、自らの人生をより良く生きていくためには、まず、自分自身がかけがえのない存在であるということを認識する必要があります。また、自分自身という存在は、様々な人や事柄との関係性において成り立っていることを認識し、他者への理解を深めることが大切です。子供たちにとって、最も身近に感じられる他者が親なのです。

子から親へ「感謝の気持ち」や「愛情」を「ことば」で表すことを通して、子供も親も自らを振り返ることは、「親子の絆」を深め、より良い親子関係を構築するとともに、子供がこれからの生き方を考える絶好の機会になるのではないのでしょうか。

親守詩山口大会実行委員会は、『親守詩』づくりを通して、親子の絆が一層深まり、家庭の教育力向上の一助とすることを目的として活動しております。

2 募集対象

園児の部、小学生の部（学年ごと）、中学生の部、高校生の部、一般の部

※ 応募に関するお問い合わせは、山口県親学推進委員会 事務局（山口県教連 事務局）

☎ 0 8 3 - 9 2 2 - 2 0 4 9 まで御連絡ください。

【募集締切：平成 30 年 9 月 14 日(金)】

3 作品部門

① 作文・詩の部（子から親へ 140 字以内の短作文や詩の形式）

② 定型詩の部（子から親へ 5・7・5 の俳句形式）

③ 連歌の部（子が上の句 5・7・5、親が下の句 7・7 をつくる形式）

※ ②③については、英語表記のものも可とする。

4 表彰

山口大会において、各部門・募集対象毎にそれぞれ優良、入選等の賞を選考します。

入賞者は、10月21日（日）の第7回親守詩山口大会にて表彰します。また、山口大会優良賞につきましては、第6回親守詩全国大会に出品されます。

【第6回親守詩全国大会】

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 1 日 時 | 平成 31 年 2 月 17 日（日） |
| 2 場 所 | 浜離宮朝日ホール（朝日新聞東京本社・新館 2 階） |
| 3 大会日程 | 開会行事 模擬授業 記念シンポジウム 表彰・作品披露 閉会行事 |

